

韓国最高層のロッテワールドタワー 年内オープンは不可能

【ソウル聯合ニュース】ロッテグループの創業者、辛格浩（シン・ギョクホ、日本名：重光武雄）氏と次男の辛東彬（シン・ドンビン、日本名：重光昭夫）韓国ロッテグループ会長がグループの念願として進めてきた韓国最高層となるソウル・蚕室のロッテワールドタワー（123階建て、555メートル）の年内の完成は厳しい状況で、オープンは事実上不可能なことが3日、複数のグループ関係者の話で分かった。



建設中のロッテワールドタワー＝（聯合ニュース）

韓国ロッテグループは裏金問題で6月から**検察当局の捜査**を受けており、タワーオープンの準備を統括してきたロッテ物産の盧柄容（ノ・ビョンヨン）社長（元ロッテマート営業本部長）も加湿器殺菌剤により多数の死傷者が出た問題で逮捕されている。

今年初めには、ロッテは12月末にタワーを一般公開する盛大なイベントを開く計画を立てていた。ロッテ物産など系列会社の事務所を移転し、格浩氏と東彬氏もタワーのレジデンスなどにそれぞれ入る予定だったが、引っ越しなどの準備は進んでいない。

現在、タワーの工程率（工事進捗率）は91%で、内部インテリア設置などの最終作業を行っている。

kimchiboxs@yna.co.kr